



北斗句会 五月定例会（八日 偕行社） 兼題「花」「餅」

五十音順 特は特選 石田きよし選

八重桜前のめりなる古い木かな 大崎石州

春愁や我に縁なき十連休 太田黒幸風

櫻葉降る八十路の港出でにけり 大森康政

子はすでに孫もつ齡柏餅 竹内雲泉

柏餅食ふたび母のそこにあり 田中資凡

クレヨンの能はぬ色や春の宵 長池豆陽

葉桜や参道の店静もれり 深見十万

武者人形四暗刻の単騎待ち 藤田紀潮

地平線まで菜の花の黄一面 宮下ひかる

芝桜彼方に富士の嶺白し 森田光彦

のどけしや古刹の廊下きしむ音 山縣秀雄

亡きひとをふと思ひ出す君子蘭 吉岡誠山



この堀をめぐる戦や花筏 石田きよし